

## 平成十二年『路』年間賞

選考委員 関 水華・瀧 正治・高橋 甫・堀井 勉・  
内平登代子・藤原和美・吉澤和子・金子美知子

最高賞（賞状・初代川柳翁レリーフ・副賞・平成十二年『路』合作本）

**耕せばやがて見つかる父の遺書**

**千葉 風樹**

（特選）水華 正治 （秀逸）勉 和子

最高賞（賞状・初代川柳翁レリーフ・副賞・平成十二年『路』合作本）

**気取るのは止そうと南瓜煮くずれる**

**吉澤 和子**

（特選）水華 甫 勉 （佳作）登代子

### 次点

立っているだけで大地と結ばれる

高橋里江子

（秀逸）正治 和美 水華 （佳作）美知子

引き潮にとり残されて手をつなく

内平登代子

（秀逸）水華 甫 和子

幸福の切符は並んでも買えぬ

瀧 正治

（特選）和子（秀逸）水華

胸上げの真上の満月は見るな

樋口 仁

（特選）美知子（佳作）和子 登代子

雑魚干され一匹ずつが天を見る

荒巻 重義

（秀逸）正治 和美

太陽を鳥肌にしてエノラ・ゲイ

二宮 茂男

（特選）正治

ひとつふたつ座右の銘を捨てはじめ

荻原 鹿声

（特選）甫

人生の一番いい日今にする

望月 弘

（特選）勉

合鍵を隠しておこう月の裏

大黒谷サチ工

（特選）美代子

人差し指にひとときわ温かい血を送る

沢田 清敏

（特選）和美

|                  |       |
|------------------|-------|
| 一色が生きる昭和の風景画     | 金子美知子 |
| (特選) 和美          |       |
| 肯定の耳を浮かせる地平線     | 藤原 和美 |
| (特選) 美知子         |       |
| 一日の鎧の重さ思う夜       | 上村 未央 |
| (特選) 和子          |       |
| 一番の貧乏くじは兵の墓      | 滝口 忠三 |
| (秀逸) 美知子 (佳作) 和美 |       |
| 齒こぼれや石榴の赤の生臭し    | 小野 富代 |
| (秀逸) 正治          |       |
| B面になるとモナリザ髭がある   | 堀井 勉  |
| (秀逸) 甫           |       |
| 定年の日に一足の靴を買う     | 荻原 鹿声 |
| (秀逸) 甫           |       |
| こつそりと美人でいますEメール  | 永原 陽恵 |
| (秀逸) 勉           |       |
| 老いて候いつもなにかに追い抜かれ | 岩淵 黙人 |
| (秀逸) 勉           |       |
| 猿芝居仲間の猿が目を伏せる    | 瀧 正治  |
| (秀逸) 登代子         |       |
| 下を向く性善説が今日もいる    | 庄子 義男 |
| (秀逸) 登代子         |       |
| 体脂肪だったんですよ一等地    | 保田 二郎 |
| 秀逸) 登代子          |       |
| 電話の中をぼとぼとと来る輸血   | 千葉 風樹 |
| (秀逸) 和美          |       |
| 好敵手まだ弱点を攻めて来ず    | 沢田 清敏 |
| (秀逸) 美知子         |       |
| 等身大になれと疲れた影が言う   | 渡部トミ子 |
| (秀逸) 美知子         |       |
| 孤高自負して一匹の鬼を飼う    | 堀井 勉  |
| (秀逸) 和子          |       |
| 降り方を考えぬまま雲に乗る    | 古俣 麻子 |
| (佳作) 正治 勉        |       |
| 主語のない話が好きなコップ酒   | 山田 不及 |
| (佳作) 水華 勉        |       |
| パレットの青がなくなり夏終わる  | 江澤多香子 |
| (佳作) 水華 和子       |       |

棘のない薔薇と詰まらぬ時が過ぎ

田中寿々夢

(佳作) 正治

大花火どんどん覚める墓地の耳

藤原 和美

(佳作) 正治

朝の陽に立てば命の有難さ

高橋 白蝶

(佳作) 甫

生かされてたった一人のラムネ玉

千葉 風樹

(佳作) 甫

母の字をほどくと長い線になる

大黒谷サチ工

(佳作) 勉

人間と笑い話がしたくなる

関川 岳司

(佳吟) 和美

終着駅人のかたちで降りたいね

岩本 和夫

(佳吟) 和美

温室を出た切り花の細き明日

古俣 麻子

(佳吟) 美知子

火消し壺春の種火は消えてない

瀧 正治

(佳吟) 美知子

愚痴はここまで握りしめてる砂時計

門林 操子

(佳吟) 和子

ただだかの夢と尺取り生きている

田中寿々夢

(佳吟) 登代子